

臨濟宗大本山妙心寺大雄院

秋の特別拝観

拝観料／六百円

2018

—. 9 fri —. 24 sat

10:00-16:00

Fusuma-e project



襖絵プロジェクト
大雄院

Hanano maru



大本山妙心寺塔頭 大雄院にて発足いたしました「襖絵プロジェクト」。江戸の大きな才能「柴田是真」が、失われた明治宮殿に残した草花図をこの時代に生きる「宮絵師 安川如風」が襖絵として復活させるというプロジェクトです。

本年春に、大変多くの方々のご協力を得まして無事にプロジェクト全18面のうち8面が納められました。今秋は新たに2面が追加され、10面の襖に23種の草花をご覧いただきます。引き続き大雄院では、プロジェクトの完成を目指すとともに柴田是真という才能の素晴らしさ、宮絵師の描く日本画の美しさ、それらの価値を見つめ直し、再発見していただく、そういう機会と出会い、ご縁がつながる場でありたいと願います。

大雄院には、是真が24歳で描いた大作72面の障壁画がございます。若かりしは是真が筆をとり、意氣揚々と描き上げた空間に身を置いて、その時是真が見たであろう枯山水の風を感じて下さいますれば、「すべては心次第」いつの時代でも、いかなる刻を生きることができます。どのような時でも人は、目の前のものひとつに感動できれば幸せになれる。



大雄院襖絵 安川如風（2018）年



大雄院本堂障壁図七十二面 柴田是真(1830)年

まだ絵師として修行中だった是真が描いた京都大雄院襖絵とは是真晩年の大傑作、江戸で描かれた花の丸図が、彼が絵師として出発した地で180年の時を経て肩を並べることになるとは、なんともおもしろいものです。

お参りのみなさまには、ぜひ新旧の襖絵をご覧いただき、不思議な時の流れと、時を経ても新しさを失わない是真の美の才能を楽しんでいただきたいと思います。



大雄院襖絵プロジェクト ご協力のお願い

大雄院襖絵制作プロジェクトの完成に向け、
秋の特別拝観では完成した8面と新たに客間襖絵
2面が追加されます。ご覧頂くこの機に、ご寄付の
ご協力のほど何卒よろしくお願ひ申し上げます。

[制作内容] 柴田是真の残した花の丸図を元に
安川如風が描く大雄院の襖18面

[完成予定] 2020年4月予定

[寄付受付] 1口/1,000円より

寄付をお受けした方のお名前はお寺に残させていただき、
完成披露内覧会へのご招待をさせていただきます。

〔ご寄付の仕方〕

大雄院備え付けの申込用紙にて直接お申し込む。
大雄院ホームページより申し込む。
ご不明な点は大雄院へお問い合わせ下さい。

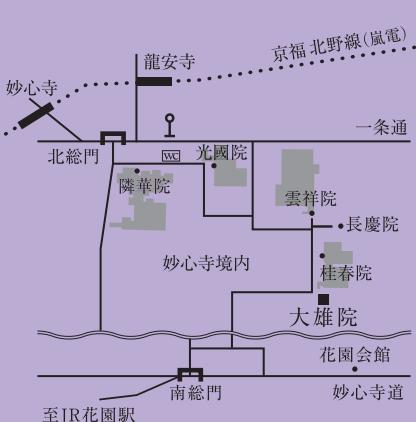
※ご寄付の心ばかりの返礼として
記念御朱印(書き置き)の授与がございます。



〔襖絵プロジェクト記念御朱印帳〕
蓮子と杜若に貝 山茶花と水仙



〔秋の特別拝観期間限定御朱印〕



妙心寺 大雄院

〒616-8035
京都市右京区花園妙心寺町52
075-463-6538

<https://www.daiouin.com>

アクセス
電車/JR「花園駅」より徒歩10分
嵐電「妙心寺駅」「龍安寺駅」より徒歩8分
バス/市バス26系統「妙心寺北門前」より徒歩5分

大雄院 住職 石河法寛
大雄院襖絵制作実行委員会一同